

第2学年 国語科学習指導案

1. 単元名 ようすを考えて読もう 「お手紙」

2. 指導観

- 本学年の子どもたちは、これまでに「ふきのとう」と「スイミー」の二つの物語文を学習している。「スイミー」の学習を通して、「つかむ段階」では、題名と冒頭をつないで読むことでスイミーの行動に着目した読みのめあてを生み出すことができるようになってきている。「さぐる段階」では挿絵と言葉をつないで読んだり、言葉ははずして読んだり、似た言葉と比べて読んだりすることを通して、登場人物の気持ちや様子を想像しながら読むことができるようになってきている。また、スイミーが言ったことを吹き出しに書いたり、ペープサートで操作したりすることで、スイミーの行動やそのわけを想像しながら読むことができるようになってきている。「まとめる段階」では、「スイミー」と「小さな魚のきょうだいたち」という題名を比べることで、スイミーの果たした役割を確かめ、「〇〇〇なスイミーさんへ」と題名をつけて手紙を書くことで、自分の読みを確かなものにしてきた。しかし、叙述から分かることや疑問に思うことを考える力や、様子や気持ちを想像して表現する力には個人差が大きい。

- 本単元は、ちょっぴりわがままで、自分勝手ながまくんと、一生懸命に優しい言葉をかけて励まし続けるかえるくんの心のふれあいが感じ取れるお話である。子どもたちは、かえるくんの姿とお手紙の内容をつないで考えることで「親友」について考え、「親友」の見方・考え方を深めることができるであろう。

また、本教材は、10枚の挿絵や短い会話文を中心に構成されている。そのために子どもたちは、挿絵を手がかりにがまくんとかえるくんの気持ちの動きを読み取ることができる。また音読を取り入れながら、似た言葉や繰り返しの言葉、会話文に着目して読むことで、場面の様子や登場人物の気持ちを想像することができる教材である。本教材の学習を通して、子どもたちに想像を広げながら読む力を一層身につけさせることができると考える。

- 本単元の指導にあたっては、次のような手立てをとっていきたい。

- ・子どもを引きつける教材とのあわせ方について

① 手紙を届けている人のビデオ

題名から「お手紙」に関係ある話であると想像できる。そこで「お手紙」が人の手によって自分のところまで届いていると分かるビデオを見せる。

② はがきと封書の手紙を見せ、比較する。

『お手紙』という題名にふさわしい手紙はどっちかな？と問い、相手に伝えたい気持ちがこもっていて、自分の思いを相手にたくさん伝えるときは、封書に書くことが多いことを意識させる。

- ・立ち止まりの場面の工夫について

「つかむ段階」では、冒頭の文で読み取ったふたりの「かなしい気分」を、がまくんやかえるくんになって吹き出しに書かせる。お手紙がもらえなくて「かなしい気分」でいるのはがまくんだけでなく、かえるくんも「かなしい気分」でいることに気づき、かなしい気分がげんかんの前にこしをおろしているふたりがどうなるのだろうかと思欲的に読み進めていくと考えたからである。

「さぐる段階」では、読み確かめる段階で3つの立ち止まりを設定する。立ち止まり①では、がまくんが、何を「とてもいい」と言っているのか考えを深めるため、かえるくんががまくんの「親友」と言える行動を振り返らせ、「友達」と「親友」の違いを考えさせる。立ち止まり②では、お手紙が、まだ届いていないのにしあわせな気持ちになって、お手紙を長いこと待っている様子を考えさせるために、親友と言われてしあわせな気持ちのがまくんががまくんが喜んでいる様子を見てしあわせな気持ちのかえるくんになって、鉛筆対談をさせる。立ち止まり③では、お手紙を届けたかたつむりくんの気持ちやふたりのとてもしあわせな気持ちを想像させるために、3人になりきって吹き出しに書かせる。

「まとめる段階」では、がまくんとかえるくんの心を深く結んだ大切な「お手紙」であったことを確認するために、「がまくんとかえるくん」という題名と題名「お手紙」とを比べさせる。そして「〇〇〇のお手紙を書いたかえるくんへ」「〇〇〇のお手紙をもらったがまくんへ」「〇〇〇のお手紙を届けたかたつむりくんへ」など「お手紙」の前に「〇〇〇のお手紙」と題をつけ、登場人物に宛てたお手紙を書くことで、今まで読んできた自分の読みを確かに行うことができる考えた。

3. 単元目標

- 叙述から考えたことや想像したことを進んで表現することができる。 (関心・意欲・態度)
- 挿絵と言葉をつないだり、似た言葉や繰り返しの言葉、会話文に着目したりして想像しながら読むことで、場面の様子や登場人物の心情を読み取り、「親友」の見方・考え方を深めることができる。 (読む)
- 登場人物の行動を中心に、様子や気持ちを想像し読み取ったことを自分なりに書きまとめることができる。 (書く)

4. 指導計画 (全 16 時間)

□ : ねらい ■ : 手立て

段階	配時	主な学習活動と内容	立ち止まりの場面と教師の支援
<p>子どもを引きつける教材とのあわせ方 ①お手紙を届けている人のビデオを見る。 ※お手紙は、人によって届けられていることを知らせるため。 ②はがきと封書の手紙を見せ比較する。 ※自分の思いを相手にたくさん伝える時は、封書に書くことが多いことを知らせる。</p>			
つかむ	2	<p>1. 題名と冒頭をつないで、読みのめあてをつくる。</p> <p>(1) 題名「お手紙」について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お手紙が届けられている様子のビデオを見る。 ・はがきと封書の手紙を比べる。 ・題名「お手紙」について考えたこと、疑問に思ったことを話し合う。 <p>(2) 冒頭を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音読をする。 ・挿絵で登場人物の確認をする。 ・役割音読をする。 ・挿絵を読む。 <p>(3) かなしい気分でこしをおろしているふたりの様子について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふたりの気持ちを吹き出しに書く。 ・動作化し、書いたことを発表する。 <p>(4) 題名やふたりの様子について、これから知りたいことを話し合い、読みのめあてを生み出す。</p> <p style="text-align: center;"><読みのめあて></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>かなしい気分でげんかんの前にこしをおろしているふたりが、どうなるお話だろう。</p> </div>	<p>○お手紙についての自分の経験から「だれに、どんなお手紙をもらったりあげたりしたか。その時どんな気持ちだったか。」想起させる。</p> <p>○「お」に着目して考え、大切なことが書いてありそうだととらえさせる。</p> <p>○どちらかがまくんでどちらがかえるくんか問うことで、叙述とつないで考えさせるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>つかむ段階の立ち止まり</p> <p>□お手紙をもらえず、かなしい気持ちのがまくんを見て、かなしい気分であるかえるくんの気持ちを読み取らせるため。</p> <p>■がまくんとかえるくんになり、二人の気持ちを吹き出しに書かせる。</p> </div>
	2	<p>2. 読みのめあてをもとに、全文を読み、予見をまとめる。</p> <p>(1) 全文を読み通す。</p> <p>(2) 挿絵をもとに、お話の順序を確かめる。</p> <p>(3) 予見を書きまとめる。</p> <p style="text-align: center;"><予見の方向></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>かえるくんは、いそいで家にかえってがまくんへのお手紙を書き、それをかたつむりくんにたのんだよ。そしてかえるくんは、まどからゆうびんうけを見たりのぞいたりしたよ。ずっとまっけていてもお手紙がないので、かえるくんは自分がお手紙を出したことをがまくんに言ったよ。それを聞いて、ふたりともとてもしあわせな気持ちで、げんかんにすわっていたよ。四日たっけてかたつむりくんが家につき、がまくんはお手紙をもらいとてもよろこんだよ。</p> </div>	<p>○挿絵と対応させて、がまくんとかえるくんがしたことを中心に書きまとめられるようにする。</p>

	<p>1 3. 予見を話し合う中で、疑問点や不確かな点を明らかにし、学習計画を立てる。</p> <p>(1) 予見を発表し合う。</p> <p>(2) がまくんやかえるくんのしたことや言ったことを話し合い、もっとくわしく知りたいことや疑問に思うことを整理し、学習計画を立てる。</p> <p>○かえるくんは、なぜお手紙をかたつむりくんにたのんだのだろう。</p> <p>○まどからゆうびんうけを見たり、のぞいたりしているかえるくんは、どんな気持ちだろう。</p> <p>○かえるくんは、なぜ自分でお手紙をだしたことを言ったのだろう。</p> <p>○お手紙がとどくことを聞いたがまくんは、どんな気持ちだろう。</p> <p>○お手紙をまっているふたりは、どんな気持ちだろう。</p> <p>○お手紙をもらった時のがまくんは、どんな気持ちだろう。</p>	<p>○予見の違いを明確にしなが ら、お話のすじとして、必 要ながまくんとかえるくん の言動を整理していく。</p> <p>○自分の予見の足りなかった 点に気付かせ、予見を見直 させる。</p> <p>○予見の中で、がまくんやか えるくんのしたことに線を 引き、もっとくわしく知り たいことや疑問に思うこと を出させる。</p>
さ ぐ る	<p>1 4. 大いそぎで家に帰って、かたつむりくんにお手紙をたのんだかえるくんの様子や気持ちを考える。</p> <p>(1) 2枚の挿絵からかえるくんのしたことを話し合う。</p> <p>(2) 本文を音読する。</p> <p>(3) かえるくんのしたことに線を引く。</p> <p>(4) 「大いそぎで家に帰りました。」から「家からとび出しました。」までの急いでいるかえるくんの様子を読み取り、かえるくんの気持ちを話し合う。</p> <p>(5) かえるくんは、どうしてお手紙をかたつむりくんに届けてくれるようにたのんだのかを考える。</p> <p>(6) 今日の場面で読み取ったことをお家の人に知らせるお手紙を書く。</p>	<p>○挿絵からどんなお話か、か えるくんがしたことを発表 させる。</p> <p>○かえるくんのしたことが、 たたみかけるような書き方 になっていることに着目さ せ、かえるくんが急いでい る様子を想像させる。</p> <p>○かえるくんが急いで手紙を 書いたわけとかえるくんの がまくんを喜ばせたい気持 ちを考えさせる。</p> <p>○板書をもとに、今日の場面 で読み取ったことを書きま とめさせる。</p>
	<p>1 5. まどから見たり、のぞいたりしたかえるくんの様子や気持ちを考える。</p> <p>(1) 3枚の挿絵からかえるくんのしたことを話し合う。</p> <p>(2) 本文を音読する。</p> <p>(3) かえるくんのしたことに線を引く。</p> <p>(4) 「ゆうびんうけを見ました。」「まどからのぞきました。」「まどからのぞきました。」とがまくんのしたことをつないで様子を想像して、何回も外を見ているかえるくんの気持ちを話し合う。</p> <p>(5) 今日の場面で読み取ったことをお家の人に知らせるお手紙を書く。</p>	<p>○挿絵からどんなお話か、か えるくんがしたことを発表 させる。</p> <p>○「見ました」と「のぞきま した」の挿絵をもとに動作 化させることで、視線の違 いに気付くようにする。</p> <p>○板書をもとに、今日の場面 で読み取ったことを書きま とめさせる。</p>
	<p>1 6. お手紙を出したことを言ってしまったかえるくんの気持ちとそれをきいたがまくんの様子や気持ちを考える。</p> <p>(1) 2枚の挿絵からがまくんやかえるくんのしたことを話し合</p>	<p>○挿絵からどんなお話か、か えるくんがしたことを発表 させる。</p>

<p>△ 本 時 ▽</p>	<p>う。 (2) 本文を音読する。 (3) かえるくんからお手紙が届くことを聞いたがまくんの様子や気持ちを話し合う。 (4) お手紙の内容を聞いて、自分にも「親友」がいたことに気付いたがまくんの様子や気持ちを話し合う。 ・がまくんは、お手紙のどこが「とてもいい」と言ったのか話し合う。 ・かえるくんの「親友」らしい行動を振り返らせ「親友」について考える。 ・「ああ。」「とても、いいお手紙だ。」の間に時間があることを気付かせ、ゆっくりと感動をかみしめているがまくんに同化し、音読する。 (5) 今日の場面で読み取ったことをお家の人に知らせるお手紙を書く。</p>	<p>○「きみが。」「ああ。」「とてもいいお手紙だ。」を音読し、気持ちの違いに気付かせる。</p> <div data-bbox="1074 365 1433 674" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>さぐる段階の立ち止まり①</p> <p>□がまくんが何を「とてもいい」と言っているのか考えを深めるため。</p> <p>■かえるくんの「親友」と言える行動に線を引き、振り返る。</p> </div> <p>○板書をもとに、今日の場面で読み取ったことを書きまとめさせる。</p>
<p>1 △ 本 時 ▽</p>	<p>7. とてもしあわせな気持ちでお手紙をまっているがまくんとかえるくんの様子や気持ちを考える。 (1) 1枚の挿絵からふたりがしたことを話し合う。 (2) 本文を音読する。 (3) ふたりがしたことに線を引く。 (4) 「ふたりともとてもしあわせな気持ち」になったのか話し合う。 ・2枚目と9枚目の挿絵を比べる。 ・お手紙がまだ届いていないのに、ふたりがしあわせな気持ちになったわけを考える。 (5) 長いことしあわせな気持ちで待っているふたりの様子を想像する。 ・「長いこと」とは4日間であることをつかむ。 ・2人組で鉛筆対談をする。 ・がまくんとかえるくんになり、書いたことを発表する。 (6) 今日の場面で読み取ったことをお家の人に知らせるお手紙を書く。</p>	<p>○挿絵からどんなお話か発表させる。</p> <div data-bbox="1074 992 1433 1514" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>さぐる段階の立ち止まり②</p> <p>□お手紙がまだ届いていないのにしあわせな気持ちで、長いこと待っていたふたりの様子を考えられるようにするため。</p> <p>■親友と言われてしあわせな気持ちのがまくんと、がまくんが喜んでいる様子を見てしあわせな気持ちのかえるくんになって鉛筆対談させる。</p> </div> <p>○板書をもとに、今日の場面で読み取ったことを書きまとめさせる。</p>
<p>1</p>	<p>8. お手紙をもらったがまくん、それを見たかえるくん、お手紙を届けたかたつむりくんの気持ちを考える。 (1) 1枚の挿絵からかえるくんとがまくん、かたつむりくんがしたことを話し合う。 (2) 本文を音読する。 (3) がまくんとかたつむりくんのしたことに線を引く。 (4) お手紙を届けに来たかたつむりくんとお手紙をもらったがまくん、それを見ているかえるくんの気持ちを想像する。 ・かたつむりくん、がまくん、かえるくんになりきって吹き出しに書く。</p>	<div data-bbox="1074 1671 1433 2063" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>さぐる段階の立ち止まり③</p> <p>□お手紙を届けたかたつむりくんの気持ちやふたりのとてもしあわせな気持ちを想像させるため。</p> <p>■かたつむりくん、がまくん、かえるくんになりきって吹き出しに書かせる。</p> </div>

		(5) 今日の場面で読み取ったことをお家の人に知らせるお手紙を書く。	○板書をもとに、今日の場面で読み取ったことを書きまとめさせる。
ま と め る 本 時 V	1	9. かえるくん、がまくんがしたこと、言ったこと、その時の様子や気持ちについて整理し、題名にもどって「お手紙」の果たした役目をとらえ、読みのまとめをする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめる段階の立ち止まり</p> <p><input type="checkbox"/> ふたりの心をさらに深く結んだ大切な「お手紙」であったことを確認するため。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 「がまくんとかえるくん」という題名を提示し、題名「お手紙」と比べさせる。</p> </div>
		(1) これまで読み取ってきたかえるくんやがまくんの様子や気持ちを振り返る。	
		(2) 「お手紙」の果たした役割について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物を確認する。 ・「がまくんとかえるくん」という題名と「お手紙」を比べて考える。 	
		(3) 「お手紙」に題をつけ、選んだ登場人物にお手紙を書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・「お手紙」に題をつける。 ・自分の気持ちを1番伝えたい登場人物を選ぶ。 ・「お手紙」の題名を考える。 「〇〇〇のお手紙を書いたかえるくんへ」 「〇〇〇のお手紙をもらったがまくんへ」 「〇〇〇のお手紙を届けたかたつむりくんへ」 ・題名やその題名をつけたわけを発表する。 ・お手紙を書く。 	
	1	10. 書いたお手紙を発表する。	○自分の書くお手紙に題名をつけさせ、相手を選ばせる。
	1	11. 音読発表会をする。	○机間指導をする。
	3	12. 学習したことを生かして、アーノルド＝ローベルの他の作品を読み、読書発表会の計画を立て、読書に関心をもつことができるようにする。	○全員発表できるようにする。 ○「音読のめあて」を確認し、学習したことを生かして、音読できるようにする。 ○アーノルド＝ローベルのかえるくんシリーズのお話を読み、「お手紙」でのあらすじをとらえる学習を生かし、お話のあらすじを入れて紹介文を書かせる。

第2学年 本時指導案

「親友の存在に気付くがまくんの様子や気持ちを読み確かめる場面」(8/16時)

5. 本時目標

- かえるくんからお手紙の内容を聞いて、かえるくんが自分の親友だと気付いたがまくんの様子や気持ちを想像して読み、「親友」の意味について考えることができる。(読む)
- 本時場面で読み取ったふたりの様子や気持ちを書きまとめることができる。(書く)

6. 本時学習にあたって

前時までに、子どもたちは、「かなしい気分でげんかんの前にこしをおろしていたふたり」から「かえるくんは大いそぎで家へ帰り、がまくんにお手紙を書き、かたつむりくんにお手紙を頼んだ。かえるくんががまくんの家にもどると、がまくんはあきあきして昼寝をしていた。かたつむりくんをまって、かえるくんはまどから見たりのぞいたりした。」までのお話のすじやがまくんとかえるくんの様子や気持ちを読み取ってきた。そして、がまくんのために大いそぎで家に帰ったり、手紙を書いたり、家から飛び出したり、ゆうびんうけを何度も覗いたりするかえるくんの姿を動作化したり、似た言葉と比べて読んだりしながら、かえるくんのがまくんを思う気持ちを想像して読んできている。

本時は、まだやって来ないかたつむりくんやすっかり元気をなくしているがまくんの様子をもとに、手紙を出したことを言うてしまうかえるくんの気持ちを読み確かめ、かえるくんからお手紙のことを聞いたがまくんの「きみが。」を音読したり、お手紙の何が「とてもいい。」のかを考えたりすることでがまくんの喜びの気持ちを読み確かめる場面である。

そこで本時では、「ああ。」「いいお手紙だ。」と言ったがまくんの様子や気持ちを想像して読み、お手紙の中の「親友」という言葉やこれまでがまくんのために一生懸命だったかえるくんの姿をつないで考えることで、がまくんが何を「とてもいい」と言っているのか考えを深めることをねらっている。

そのために、次のような手立てをとりながら学習を展開していく。

- ① 本時場面のお話のすじをつかませるために
 - ・ 挿絵をもとにがまくんとかえるくんがしたことを話し合わせる。
 - ・ がまくんとかえるくんがしたことに線を引かせる。
- ② かえるくんからお手紙を届くことを聞いたがまくんの様子や気持ちを考えさせるために
 - ・ がまくんの様子がわかる文に線を引かせる。
 - ・ がまくんになりきって「きみが。」「ああ。」「とてもいいお手紙だ。」を音読させ、気持ちの違いに気付かせる。
- ③ お手紙の内容を聞いて、かえるくんが自分の親友だと気付いたがまくんの様子や気持ちを考えさせ、話し合いができるようにするために
 - ・ 手紙の中身のどこが「とてもいい」のか考えさせ、「親友」という言葉に着目させる。
 - ・ がまくんのためにずっと一生懸命だったかえるくんの行動を振り返らせ、相手のことを思っ一生懸命になるのが「親友」であることに気付かせ、「親友」について考える。
 - ・ 「ああ。」「とても、いいお手紙だ。」を音読させ、ゆっくりと感動をかみしめているがまくんの気持ちに同化させる。

7. 本時の展開

□：ねらい ■：手立て

主な学習活動と内容	立ち止まりと子どもの姿
<p>1. 前時の学習を想起し、本時学習のめあてを確認する。 ○挿絵から今日学習する場面のお話をする。</p> <div data-bbox="191 331 1013 465" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて お手紙を出したことを言ったかえるくと、それを聞いたがまくんのようにや気持ちくわしく読もう。</p> </div> <p>2. がまくんとかえるくんがしたことについて話し合い、本時場面の疑問を確認する。 (1) 本時場面を音読する。 (2) がまくんとかえるくんがしたこと線を引き、発表する。 (3) 疑問はどの文から出てきたのか確認する。</p> <p>3. かえるくんからお手紙が届くことを聞いたがまくんの様子や気持ちを話し合う。 ※がまくんの様子わかる文に線を引きかせる。 ※「きみが。」「ああ。」「とてもいいお手紙だ。」を音読し、気持ちの違いに気付かせる。(会話文を読む)</p> <p>4. お手紙の内容を聞いて、かえるくんが自分の親友だと気付いたがまくんの様子や気持ちを話し合う。 ※がまくんは、お手紙のどこが「とてもいい」と言ったのか、手紙に線を引き、わけを考えさせる。</p> <div data-bbox="215 1075 1013 1220" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・親愛なるがまがえるくん。 ・きみがぼくの親友であることを…。 ・きみの親友、かえる。 <div style="text-align: center;">➔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 自分にかえるくんという親友がいる！ </div> </div> <p>※かえるくんががまくんの「親友」であると言える行動を振り返らせ「友達」と「親友」の違いを考えさせる。</p> <div data-bbox="215 1332 1013 1422" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「大いそぎ」「書きました。」「とび出しました。」「のぞきました。」という行動や励ましつづけるかえるくんの言動など</p> </div> <p>※自分の経験を振り返って、「親友」とはどのようなものなのか考えさせ、書かせる。 ・「友達」よりもつながりが強く、相手のことを思って一生懸命になるのが「親友」であることに気付かせる。 ※「ああ。」「とても、いいお手紙だ。」の二言の間に時間があることに気付かせ、音読することで、ゆっくりと感動をかみしめているがまくん気持ちに同化させる。</p> <p>5. 本時学習のまとめをする。 ○今日、くわしく読んだことを振り返る。 ○読み取ったふたりの様子や気持ちを書きまとめる。</p> <div data-bbox="215 1892 1013 2072" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>がまくんはね、かえるくんが親友だと言ってくれてうれしかったから「ああ。」「とてもいい。」とかんどうして言ったんだよ。それに、自分のために一生けんめいやってくれて、本当の親友だと気がついたんだよ。</p> </div>	<p>立ち止まりと子どもの姿</p> <p>○あきらめる気持ちが強くなっているがまくん。かえるくんは、がまくんを早く喜ばせてあげたいと思っている。</p> <p>○今日はかえるくんがお手紙を出したことをかえるくに言って喜んだ場面です。</p> <p>○がまくんがお手紙のどこが「とてもいい」と言ったのか考えて、くわしく読むぞ。</p> <p>○がまくんは、驚いたと思います。「きみが。」とびっくりしているみたいだからです。「ああ。」と言ったときは嬉しいなと思っています。</p> <div data-bbox="1066 1030 1420 1339" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>さぐる段階の立ち止まり</p> <p>□がまくんが何を「とてもいい」と言っているのか考えを深めるため。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>■かえるくんの「親友」と言える行動に線を引き、振り返る。</p> </div> <p>○「きみがぼくの親友であることを…」を「とてもいい」と言ったと思います。わけは「親友」と言っているからです。</p> <p>○がまくんのために大急ぎで帰って手紙を書いたり、「だれかが、きみに…」とか言わずと励ましているところが「親友」だと思う。</p> <p>○親友は友だちよりもっと仲良しなのかな。○○さんは、いつでも応援してくれるから親友かもしれないな。</p> <p>○かえるくんはぼくのことを親友と思ってくれていたんだ。感動したな。</p>

第2学年 本時指導案

「お手紙を待っているふたりの様子や気持ちを読み確かめる場面」(9/16時)

5. 本時目標

- とてもしあわせな気持ちでお手紙を待っているがまくんとかえるくんの様子や気持ちを想像して読むことができる。 (読む)
- 読み取ったがまくんとかえるくんの様子や気持ちを書きまとめることができる。 (書く)

6. 本時学習にあたって

前時までに子どもたちは、まだやってこないかたつむりくんやすっかり元気をなくしているがまくんの様子をもとに、手紙を出したことを言ってしまうかえるくんの気持ちを読み確かめてきている。また、「親愛なる がまがえるくん。ぼくは、きみが ぼくの親友であることを、うれしく思います。きみの親友、かえる。」の中から、がまくんはお手紙のどこが「とてもいい。」と言ったのかを考え、かえるくんの「親友」であると言える行動を振り返ることで、困っているときは相手のことを思いやって一生懸命になるのが「親友」であることをとらえている。さらに、「ああ。」と「とても、いいお手紙だ。」を音読することで、ゆっくりとお手紙の感動をかみしめているがまくんの気持ちに気付き、「親友」とはどういうものなのかの考えを深めてきている。最後に、かえるくん「親友」と言われて自分にも親友がいたことに気付いたがまくんの気持ちや様子を書きまとめている。

本時は、とてもしあわせな気持ちでお手紙を待っているがまくんとかえるくんの様子や気持ちを想像して読む場面である。

そこで、本時では、お手紙がまだ届いていないにもかかわらず、ふたりともしあわせな気持ちになったわけを、挿絵を比べて読んだり、前の場面とつないで読んだりして読むこと、そしてその後ふたりがどんなお話をして長いことお手紙を待っていたのかを鉛筆対談し、しあわせな気持ちを想像して読むことをねらっている。

そのために、次のような手立てをとりながら学習を展開していく。

- ① 本場面のお話のすじをつかませるために
 - ・ 挿絵をもとにがまくんとかえるくんのしたことを話し合わせる。
 - ・ がまくんとかえるくんのしたことに線を引かせる。
- ② お手紙がまだ届いていないのに、がまくんとかえるくんがとてもしあわせな気持ちになったわけを考えさせるために
 - ・ 2枚目と9枚目の挿絵を比べることがまくんとかえるくんの表情や座り方の違いをとらえさせる。
 - ・ 前の場面のお手紙を提示することで、「親友」という言葉とつないで考えさせる。
- ③ ふたりがどんなお話をして長いこと待っていたのか話し合わせるために
 - ・ 親友と言われてしあわせな気持ちのがまくんと、がまくんが喜んでいる様子を見てしあわせな気持ちのかえるくんになって鉛筆対談させる。
 - ・ 鉛筆対談したことを声に出して練習させる。
 - ・ 鉛筆対談した二人で、がまくんとかえるくんの役になり発表させる。

7. 本時の展開

□：ねらい ■：手立て

主な学習活動と内容	立ち止まりと子どもの姿
<p>1. 前時の学習を想起し、本時学習のめあてを確認する。 ○挿絵から今日学習する場面のお話をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて とてもしあわせな気持ちでお手紙をまっているがまくんとかえるくんのようすや気持ちをくわしく読もう。</p> </div> <p>2. がまくんとかえるくんがしたことについて話し合い、本時場面の疑問を確認する。 (1) 本時場面を音読する。 (2) がまくんとかえるくんのしたことに線を引き、発表する。 (3) 疑問がどの文から出てきたのかを確認する。</p> <p>3. 「ふたりとも、とてもしあわせな気持ちで、そこにすわっていました。」から、なぜふたりともしあわせな気持ちになったのか話し合う。 ○2枚目と9枚目の挿絵を比べる。 ※がまくんとかえるくんの表情や座り方の違いを見付けることで、お手紙を待っている様子をとらえさせる。(挿絵と言葉をつなぐ) ※「ふたりとも」とはがまくんもかえるくんもであることをとらえさせる。 ○お手紙がまだ届いていないのに、ふたりがしあわせな気持ちになったわけを話し合う。 ※前の場面の「ああ。」「とてもいいお手紙だ。」という会話文やかえるくんのお手紙の「親友」という言葉とつないで考えさせる。(前の場面とつないで読む) ※お手紙を提示する。</p> <p>4. 長いことしあわせな気持ちで待っているふたりの様子を鉛筆対談して想像し発表する。 ※「長いこと」とは4日間であることをとらえさせる。(場面の空所を読む) ※お手紙が届くのを待っている間にどんなお話をしたのか鉛筆対談させる。 ※鉛筆対談した二人で、がまくんとかえるくんの役になり発表させる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 5px 0;"> <p>がまくん ←</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親友なんて言ってくれてうれ しいよ。 ・手紙が届くの楽しみだな。 ・かたつむりくんにたのんだんだね。早く届かないかな。 <p style="text-align: center;">→ かえるくん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前から思っていたよ。きみが喜んでくれてぼくもうれしいよ。 ・そうだね。かたつむりくんまだかな。 </div> <p>5. 本時のまとめをする。 ○今日、くわしく読んだことを振り返る。 ○読み取ったふたりの様子や気持ちを書きまとめる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 5px 0;"> <p>がまくんがしあわせな気持ちになったのはね、お手紙をもらえることを知って、その手紙に「親友」と書かれていたからだよ。かえるくんがしあわせな気持ちになったのはね、がまくんがよるこんでくれたし、わらってくれたからだよ。ふたりはしあわせな気持ちで4日間お手紙をまったんだよ。</p> </div>	<p>立ち止まりと子どもの姿</p> <p>○前時はかえるくんがお手紙を「親友」と書いて出したことを聞いてがまくんが喜んだ場面です。</p> <p>○今日はふたりが玄関に出てお手紙がくるのを待っている場面です。</p> <p>○どうしてふたりはしあわせな気持ちになったのだろうか。</p> <p>○2枚目はふたりともかなしそうな表情だけど、9枚目はふたりともわらっていて肩を組んで仲がよさそうだと思います。</p> <p>○がまくんはかえるくんに親友と言われてうれしかったからしあわせな気持ちになったんだと思います。</p> <p>○かえるくんはがまくんが喜んでくれたから自分もしあわせな気持ちになったんだと思います。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>さぐる段階の立ち止まり</p> <p>□お手紙がまだ届いていないのにしあわせな気持ちで長いこと待っていた様子を考えられるようにするため。</p> <p>■親友と言われてしあわせな気持ちのがまくんと、がまくんが喜んで様子を見てしあわせな気持ちのかえるくんになって鉛筆対談させる。</p> </div> <p>○鉛筆対談してふたりのしあわせな気持ちがよくわかったな。</p>

第2学年 本時指導案

「読み確かめたことを振り返り、読みのまとめをする場面」(12/16時)

5. 本時目標

- 読み確かめたことを振り返り、「お手紙」が果たした役割について考えることができる。(読む)
- 読み確かめたことをもとに、自分が伝えたいことを登場人物へのお手紙に書くことができる。(書く)

6. 本時学習にあたって

子どもたちは、これまでに説明文「たんぼぼのちえ」や「スイミー」の学習で、主人公である「たんぼぼ」や「スイミー」に「〇〇〇のたんぼぼさんへ」「〇〇〇のスイミーさんへ」と題名をつけ、読み確かめたことをもとに自分が伝えたいことを書いてきた。

前時までに子どもたちは「お手紙をもらえず、かなしい気持ちのがまくんをよろこばせるためにかえるくんが大いそぎで家に帰ってお手紙を書き、かたつむりくんに届けてくれるように頼んだ。それから、がまくんの家にもどり、お手紙が届くのをまどからゆうびんうけを見たり、まどからのぞいたりして待った。でも、がまくんがあきらめそうなので、お手紙を出したことを話した。すると、がまくんは、『親友』と言われてとてもうれしくしあわせな気分になり、ふたりはともしあわせな気持ちでお手紙を待った。4日たってかたつむりくんが、お手紙を届けてくれてとてもよろこんだ。」という話のすじやかえるくんやがまくんの気持ちを讀んできている。また、読み確かめてきたことをお家の人に伝えるお手紙として、書きまとめた。

本時は、読み確かめてきたことを振り返り、題名に戻り「お手紙」の果たした役割について考え、自分の選んだ登場人物にお手紙を書き、読みのまとめをする場面である。

そこで本時は、がまくんには、かえるくんという親友がいたことを伝えた大切なお手紙、ふたりをしあわせにしたお手紙であったことを確認し、「〇〇〇のお手紙」という題名をつけ登場人物を選んで、自分の友達や親友のことを振り返り、自分の伝えたいことをお手紙に書き、自分の読みを確かかなものにするをねらっている。

そのために、次のような手立てをとりながら学習を展開していく。

- ① これまで読み確かめてきたかえるくんやがまくんの様子や気持ちを振り返り、話し合いをさせるために
 - ・ 教室の掲示物を使い、学習を振り返らせる。
 - ・ 挿絵と読み確かめてきた内容（お家の人あてに書いた書きまとめた文）をつないで、振り返らせる。
- ② 「お手紙」の果たした役割について考えさせるために
 - ・ このお話に出てきた登場人物を振り返らせる。
 - ・ 「がまくんとかえるくん」という題名を提示し、題名「お手紙」と比べさせる。
 - ・ どうして「お手紙」という題名がいいのか話し合わせる。
- ③ 読み確かめたことをもとに、登場人物の一人に自分の伝えたいことをお手紙として書かせるために
 - ・ お手紙の前に「〇〇〇のお手紙」という題をつけ、自分の考えを発表させる。
 - ・ お手紙を出す相手を選ばせる。
 - ・ 自分の書くお手紙に題をつけさせる。
「〇〇〇のお手紙を書いたかえるくんへ」「〇〇〇のお手紙をもらったがまくんへ」「〇〇〇のお手紙を届けたかたつむりくんへ」など
 - ・ 友達や親友について今までの自分を振り返ったり、これからの自分について考えたことなど自分とつないで書けるようにさせる。

7. 本時の展開

□：ねらい ■：手立て

主な学習活動と内容（※教師の支援）	立ち止まりと子どもの姿
<p>1. 本時学習のめあてを確認する。</p> <div data-bbox="209 286 1031 371" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて 読みのまとめをして、お話にでてきた人にお手紙を書こう。</p> </div> <p>2. かなしい気分でげんかんの前にこしをおろしていたふたりが、どうなったお話だったか、読み確かめたことを振り返る。</p> <p>3. 「お手紙」が、果たした役割について話し合う。 ※登場人物を確認させる。</p> <div data-bbox="261 566 874 656" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>かえるくん・がまくん・かたつむりくん</p> </div> <p>※「がまくんとかえるくん」という題名と題名「お手紙」を比べさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「お手紙」でふたりが、とてもしあわせになったから。 ・かえるくんとがまくんの心をつないだものは、「お手紙」だったから。 <div data-bbox="256 846 1066 1160" style="text-align: center;"> </div> <p>4. 「お手紙」に題をつけ、選んだ登場人物にお手紙を書く。 ※「お手紙」につける題名を考えさせる。</p> <div data-bbox="277 1249 954 1429" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・がまくんをしあわせにしたお手紙 ・がまくんをよろこばせたお手紙 ・ふたりをしあわせにしたお手紙 ・ふたりの心をつないだお手紙 ・がまくんの親友、かえるくんからの大切なお手紙 </div> <p>※自分の友達や親友のことを振り返って、自分の気持ちを1番伝えたい人にかえるくん、がまくん、かたつむりくんの中から選ばせる。</p> <p>※「お手紙」の題名を考えさせる。</p> <p>「〇〇〇のお手紙を書いたかえるくんへ」「〇〇〇のお手紙をもらったがまくんへ」「〇〇〇のお手紙をはこんだかたつむりくんへ」</p> <p>※題名を発表し、選んだ人物のことをどう思うか、自分の思いや考えを発表させる。</p> <p>※自分が選んだ登場人物にお手紙を書かせる。</p> <p>5. 書いたお手紙を読み、本時のまとめをする。 ※机間指導を行う。</p> <div data-bbox="165 1888 1043 2056" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>「がまくんをしあわせにしたお手紙を書いたかえるくんへ」 ぼくは、かなしい気分のがまくんをしあわせにしたかえるくんは、すごいと思う。はげましたり、お手紙をすぐに書いたり、「親友」として行どうしたかえるくんみたいになりたいです。「親友」は、友達とちがって、本とうにこまっている友達のために行どうし、たすけられる人のことだと思いました。</p> </div>	<p>立ち止まりと子どもの姿</p> <p>○今まで読み確かめた場面を思い出そう。</p> <p>○かえるくんが、かなしい気分であるがまくんのために「お手紙」を書き、かえるくんが、がまくんのことを「親友」と書いてくれて、がまくんがとてもよこんだお話だった。</p> <p>○「お手紙」がふたりをしあわせにした大事なものだから、「がまくんとかえるくん」という題名より、「お手紙」の方がいいと思う。</p> <div data-bbox="1066 875 1422 1256" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめる段階の立ち止まり</p> <p>□ふたりの心を深く結んだ大切な「お手紙」であったことを確認するため。</p> <hr/> <p>■「がまくんとかえるくん」という題名を提示し、題名「お手紙」と比べさせる。</p> </div> <p>○わたしは、「がまくんをよろこばせた大切なお手紙」という題をつけました。</p> <p>○ぼくは、かえるくんに書いたいな。わけは、かなしい気分のがまくんをはげまし、「親友」として行動していて、すごいなあと思ったから。</p> <p>○ぼくは、「ふたりの心を強く結んだお手紙をもらったがまくんへ」を書きます。がまくんには、かえるくんみたいな親友がいていいなあと思ったからです。</p>

を考えて読もう 「お手紙」

※今まで自分がもらったお手紙について想起させる。

- ・だれに、どんな手紙をもらったか。(あげたか)
- ・そのとき、どんな気持ちになったか。

お手紙

アーノルド・ローベル作

?だれが、だれに出すのかな。?どんなことを書いたお手紙かな。

がまくん

「どうしたんだい。」

「一どもかい。」

つかじ立ち止まり

「今日のうちのかなしい時なんだ。つまり、お手紙をまつ 時間なんだ。そうになると、いつもぼく、とてもふしあわせな気持ちになるんだよ。」
 「だって、ぼく、お手紙もらったことないんだもの。」
 「ああ、一ども。」

ふたりもかなしい気分で、げんかんの前にこしをおろしていました。

(お手紙がもらえず,) かなしい気分でげんかんの前にこしをおろしているがまくんとかえるくんが、どうなるお話だろう。

かえるくんは

大いそぎで家へ帰りました。

えんぴつと紙を見つけました。

紙に何か書きました。

紙をふうとうに入れました。

ふうとうに「こう書きました。」

「がまがえるくんへ」

かえるくんは、家からとび出しました。

「・・・もうちよつとまって見たらいいと思うよ。」

かえるくんは、まどからゆうびん受けを見ました。

「ひよつとして、だれかが、きみに・・・。」

かえるくんは、まどからのぞきました。

「きょうは、だれかがきみに・・・。」

かえるくんは、まどからのぞきました。

「まかせてくれよ。」

かたつむりくんが言いました。

「すぐやるぜ。」

がまくんは、ベッドでお昼ねしていました。

「いやだよ。」

「・・・あきあきしたよ。」

「そんなこと、あるものかい。」

「・・・いるとは思えないよ。」

「ほからしいこと、言うなよ。」

「・・・きょうだって同じことだろうよ。」

かたつむりくんは、まだやって来ません。

かたつむりくんは、まだやって来ません。

「でも、来やしないよ。」

「きみが。」

「ああ。」

ふたりもふしあわせな気もちで、そこにすわっていました。

(?二日め)

(?三日め)

(?四日め)

四日たって、

かたつむりくんが、

(?かえるくんは・・・)

まだめる立ち止まり

- ・題名にもどり、「お手紙」の役割について考える。
- ・手紙を書く。(かえるくん、がまがえるくん、かたつむりくんから選ぶ。)

予見の方向 かえるくんは、いそいで家にかえってがまくんへのお手紙を書き、それをかたつむりくんにたのんだよ。そしてかえるくんは、まどからゆうびんうけを見たりのぞいたりしたよ。ずっとまっけていてもお手紙がこないで、かえるくんは自分がお手紙を出したことをがまくんに言ったよ。それを聞いてふたりともとてもしあわせな気もちで、げんかんにすわっていたよ。四日たってかたつむりくんが家につき、がまくんはお手紙をもらいとでもよろこんだ。

○言葉はずして読む
 題名「お」手紙
 ↓大事そう、大切な物。

○したことをつないであらすじをまとめる
 見つけました。
 書きました。
 入れました。
 ↓手紙を書いた。

○ことばの順序を読む。
 見つけました。
 書きました。
 入れました。
 ↓急いでいる様子。
 ○言葉はずして読む
 「とび」出しました。
 ↓急いでいる様子。

○似た言葉を比べて読む
 ○挿絵を読む
 「見ました。」
 「のぞきました。」

○会話文を読む
 「きみが。」
 「ああ。」
 「とてもいい。」

○前の場面とつないで読む
 しあわせな気もち
 ○場面の空所を読む
 「四日たって」